

フラワーロスから生まれるサスティナブルアート

Sustainable Art Born from Flower Waste

大嶋 望乃子
教員氏名¹⁾ 西野 隆司

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 価値創造研究室

廃棄される花を色素として再利用し、環境に優しいクレヨンを制作する。これにより無駄な資源を活用し、環境への負担を軽減。子供たちがクレヨンを使って絵を描くことで花の大切さや自然環境の保護を学ぶ機会を提供する。

キーワード: SDGs, 環境問題, フラワーロス, サスティナブル

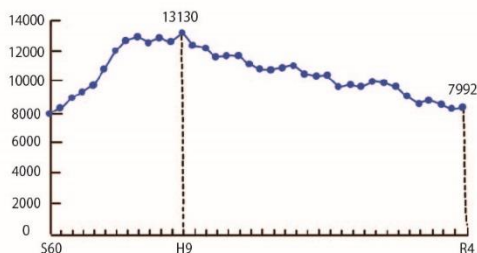
1. 研究目的

近年、フラワーロスが社会的問題として注目され、大量の花が廃棄されることで資源の無駄と環境負荷が生じている。この現状を改善するには、廃棄される花を価値ある資源と捉え、再利用方法を検討する必要がある。本研究では、廃棄予定の花を活用した製品化の可能性を探ることで、フラワーロス削減と持続可能な資源活用を目指すことを目的とする。

2. 調査内容

フラワーロスは、2020年にコロナ禍によって花を多く使うイベント(学校の式典や冠婚葬祭、各種イベントなど)が軒並み中止になり、行き場をなくした花が多く廃棄されている。調査していくと花は仕入れた花の30~40パーセントが廃棄され、経済損失は年間1500億円を上る。2022年の年間購入額は5,138円も低下しており、割合でいえば約32%も減少している。

〈切り花1世帯あたり購入金額〉
・年間購入額の推移



グラフ1: 切り花1世帯あたりの年間購入額

またその中で廃棄予定の花を買取り、ドライフラワーにリメイクイベント会場やディスプレイを装飾し活用

する事業があった。花を単なる廃棄物としてではなく、持続可能な資源として捉え直す動きが広がっている。こうしたフラワーロス削減の取り組みは、花の生産者や消費者にとっても新たな価値を生み出し、環境負荷の低減と資源の有効活用を目指すものである。

3. コンセプト

捨てられるはずの花に新たな価値を見出し、リサイクルの重要性を伝えることをコンセプトとする。環境問題や持続可能な消費行動に関心を持つ親や教師、アート活動が好きな子どもたちを主なターゲットとし、制作物を通して親子や教育現場での使用し楽しみながら、環境問題について学ぶ機会を提供する。

4. アイディア展開

(1) 体験を通して楽しみながら環境問題を理解できる制作物

花を単なる廃棄物としてではなく、持続可能な資源として捉え、花に新たな価値を与える。廃棄予定の花を活用し、花びらから天然色素を抽出して使用するクレヨンを制作する。

(2) 花の癒し効果を利用した空間及びWEBサイト
花にはリラックス効果があり、視覚的な癒しだけでなく、心身の疲れを和らげる力がある。この空間では、花の香りや色彩を楽しむことでストレスを軽減し、自然の中にいるような安らぎを提供する。また、フラワーロス削減のメッセージを伝える場としても機能し、来場者

に花の持続可能な利用について考えるきっかけを提供する。

5. 今後の予定・課題

今後は、実際にクレヨンの制作およびパッケージデザインの作業を進めていきます。クレヨンの制作では、花から抽出した天然色素を用いた試作品を複数作成し、品質や色合いの安定性を確認しながら製品化に向けて進めていきます。また、塗り絵に関しても、環境問題に関するテーマを含めたストーリーやイラストを考案し、子どもや大人が興味を持ちながら学べる内容にします。塗り絵の試作段階では、実際にターゲットとなるユーザーに使用してもらい、そのフィードバックをもとに改善点を見つけていきます。具体的には、親子での利用シーンを想定し、楽しさと学びを両立できるような構成を目指します。また、色の使用感やインタラクティブな要素を取り入れ、子どもたちの興味を引き続ける工夫も施します。

6. 参考文献

・高柳豊-フラワーロスとは？ 原因や問題点、改善の取り組み、解決方法を紹介 【朝日新聞デジタル】(参照 2024-05-20)

<https://www.asahi.com/sdgs/article/14851229>

・フラワーロストは？花と地球に優しい企業事例9選【SDGs シェア&アクション】(参照 2024-05-20)

https://sdgsitems.com/mokuhyo/hatarakigai/flower_loss/

・フラワーロストは？現状や原因、削減に向けて私たちにできること【Spaceship Earth】(参照 2024-05-20)

<https://spaceshipearth.jp/flower-loss/>